

2021年6月19日
(一社)日本外航客船協会

国内クルーズの運航再開にあたって

2021年4月30日、当協会の会員会社が運航するクルーズ船内で新型コロナウイルス感染者が確認された事案を踏まえ、本邦クルーズ船を運航する当協会の会員3社は以下の対応をとることで、今後の本邦クルーズ船の運航再開に臨むものいたします。

○2021年度上半期(9月28日まで)の間は、3泊4日のクルーズを上限といたします。

○2021年度上半期(9月28日まで)の間は、乗船前の事前PCR検査の実施に加え、乗船当日にPCR検査又は抗原検査を実施し、乗船されるお客様が「感染リスク低」であることを確認のうえ、出港いたします。

(考え方)

昨年10月の運航再開から本年4月までの間、3泊4日までのクルーズ(3社で計70回実施、4泊5日以上を4回実施)については、当協会の会員3社が当協会ガイドラインに記載された感染症対策を遵守し、これに加えて乗船日の概ね10日前に事前PCR検査を実施することで、特段の問題は発生していませんでした。

一方、船内で新型コロナウイルス感染者が確認された事案(6泊7日のクルーズ)については、乗船日10日前の事前PCR検査に加え、乗船当日にも検査を実施しましたが、その結果が出る前に出港したため、航行中に「感染リスク高」のお客様がいらっしゃる事が判明したものです。

これらを踏まえ、クルーズを安心して楽しんでいただくため、当面3泊4日のクルーズを上限とするとともに、ご自宅での事前PCR検査に加え、乗船当日に再度検査を行い、出港前に全てのお客様の検査結果を確認することいたしました。